


政策3 水環境の整備

施策1 下水道（汚水）事業の推進

事務事業の概要						
事務事業名称						
下水道特別会計繰出金事業						
予算科目				決算額(円)	担当課	
会計	款	項	目	982,000,000	上下水道部総務課	
一般	8	4	3			
目的						
一般会計繰り出し金の適正化を図ります。						
内容						
長期的経営の更なる効率化・安定化を進めるために、適正な使用料と一般会計繰り出し金の負担区分を明確にします。このために有効であると思われる地方公営企業法の適用も検討します。						
事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
懇談会提言による安定した使用料収入を確保し、中長期計画に基づく事業を着実に執行することにより、一般会計繰出金の軽減を図ります。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
繰出金 1,037,000千円 (平成21年度)	目標	繰出金の適正な 執行	繰出金の適正な 執行	繰出金の適正な 執行	繰出金の適正な 執行	繰出金の適正な 執行
	実績	970,000千円	975,000千円	989,000千円	982,000千円	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年11月に上下水道事業審議会を設置し、水道料金と下水道料金の両方を合わせた今後の使用料のあり方の審議をいただき、平成26年10月に、赤字補てんの財源として繰り入れている市税の抑制を図るべく、使用料の適正化をすすめる内容の答申を受けました。 この答申に基づき、平成27年3月議会へ水道料金と一体的に検討した使用料改定案を上程し議決されました。 なお使用料の適用は平成27年10月以降の検針分からとし、使用料は今後5年ごとに見直すこととしています。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			達成できた（目標の100%以上）			
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年10月の長岡京市上下水道事業審議会答申では、上下水道料金を一体的に捉え審議いただき、経営の安定を図るために使用料体系を大きく変更するとともに、今後の課題とその方向性についても整理することができました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に企業会計方式導入をはじめとする地方公営企業法適用を行うことにより、経営指標が大きく変化します。その影響度を関係部局と調整を図り、公費負担のあり方を含め再構築する必要があります。 法適用に向け庁内連絡会を設置しており、関係部局と遅滞なく移行準備を進めます。 						

政策3 水環境の整備

施策1 下水道（污水）事業の推進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
下水道長寿命化事業				「安心・安全」のまちづくりの推進	下水道施設課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	56,086,245	
下水	1	1	1		
管きよ更生工事(耐震化)					
					
目的					
下水道施設の長寿命化を図ることで、安全で快適な生活環境を確保します。					
内容					
長寿命化計画を策定し、長寿命化が必要な場合については、事業計画に基づき長寿命化事業を実施します。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
平成25年度までに下水道地震対策緊急整備計画による管路耐震化やマンホールトイレの整備などを実施し、あわせて長寿命化事業計画を策定します。平成26年度以降は、下水道施設の長寿命化計画により目標指数を決定します。						
現状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
管路等の耐震化調査を実施(幹線管きよについて、現地調査や設計書等による耐震計算により、耐震化ができていることが判明しました)(平成23年度)	目標	耐震化率53%	耐震化率76%	長寿命化計画策定5ヶ年計画区域の耐震化率100% ※25年度からの目標値	詳細設計委託(長寿命化が必要な場合)	長寿命化実施工事(長寿命化が必要な場合)
	実績	管路等の耐震化調査を実施(幹線管きよについて、現地調査や設計書等による耐震計算により、耐震化ができていることが判明しました)	幹線管渠とマンホールの接続部において、耐震化工事の実施	長寿命化計画策定5ヶ年計画区域の耐震化率100% 下水道地震対策緊急整備計画(5年)の終了 長寿命化計画の策定	長寿命化計画による改築工事及び修繕の詳細設計委託	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・災害用マンホールトイレ設置工事の実施(西山体育館11基・スポーツセンター6基) ・気相調査及び不明水対策を実施しました。(調子地内・天神1丁目地内) ・平成25年度に策定した下水道長寿命化計画(第1期)に基づき、平成27年度～平成28年度に工事を予定している箇所の詳細設計を実施。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			達成できた(目標の100%以上)			
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の標準的な耐用年数は50年ですが、供用開始から30年以上が経過していることから、調査点検を実施し、経年変化などによる不良箇所の早期発見に努めました。 ・調査点検時にも発見された不良箇所は随時修繕を行っていますが、一部地域で下水道管の多くにクラックが発生し、破損している箇所もあるため、下水道施設の長寿命化を図るとともにライフサイクルコストの最小化を図るために下水道長寿命化計画(第1期:平成26年度～平成30年度)を策定しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・経過年数と共に老朽化が進むことから、定期的かつ予防保全的な点検が必要です。また、将来起こりうる損壊事故等を未然に防止するための予防保全的な観点に立った維持管理・更新計画である長寿命化計画(第2期)を策定する必要があります。 ・予防保全による維持管理を行うため、定期的な調査・点検や長寿命化計画等により、下水道施設のクラックや損壊箇所を早期に発見し、計画的で適切な改築工事予備修繕を実施してライフサイクルコストの縮減を図ります。 						

政策3 水環境の整備

施策1 下水道（汚水）事業の推進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	
「下水道アセットマネジメントシステム」（仮称）の構築事業				「安心・安全」のまちづくりの推進	
予算科目			決算額(円)		担当課
会計	款	項	目	—	下水道施設課
—	—	—	—	—	—
目的					
下水道整備計画区域内のすべての市民に、経済的で快適な生活環境を確保できるよう下水道施設の健全な管理・運営を行います。					
内容					
下水道アセットマネジメントシステムを構築します。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
耐震化、長寿命化による施設の信頼性の向上を進めるとともに、使用料と市民満足度のバランスを検討します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
台帳のデータ更新済み(平成23年度)	目標	データ更新、事前調査	基本・詳細調査、資産評価	年次ごとの改築更新計画の検討 ※25年度からの目標値	公営企業化も含めたアセットマネジメントの可能性の検討	公営企業化も含めたアセットマネジメントの可能性の検討
	実績	台帳のデータ更新済み	事業方針、資産評価、公営企業化に向けた庁内検討	事業方針、資産評価、公営企業化に向けた庁内検討	資産評価に着手、事業方針、公営企業化に向けた庁内検討	
平成26年度の事業内容						
・システム構築に関わる資産評価に着手しました。また、引き続き、事業方針や公営企業化に向けた庁内検討や関係機関との協議を行いました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できなかったが、最終目標は達成する見込み				
・システム構築に関わる事業方針や資産評価、公営企業化に向けた庁内検討や関係機関との協議を行いました。アセットマネジメントの可能性の検討までには至りませんでした。						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・システム構築に関わる資産評価を行うと共に、引き続き、事業方針や公営企業化に向けた庁内検討や関係機関との協議を行い、市民等の理解や協力を得る必要があります。 ・事業の必要性を認識してもらうために、市内部や関係機関等と十分な協議を図りながら、理解と協力を得て実施していきます。 						

政策3 水環境の整備

施策2 浸水対策

事務事業の概要						
事務事業名称				重点テーマ		
流域下水道（雨水）建設負担事業				「安心・安全」のまちづくりの推進		
予算科目				決算額(円)	担当課	
会計	款	項	目	12,854,691	上下水道部総務課	
下水	1	1	3			
目的						
下水道の広域化により、下水道（雨水）事業の効率化・安定化を図ります。						
内容						
下水道の広域化のために進められている桂川右岸流域下水道（雨水）建設事業の建設費の一部を負担します。						
事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
桂川右岸流域下水道（雨水）建設事業の事業負担金の妥当性を検証し、説明責任を果たします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
建設負担金 24,603千円 (平成21年度)	目標	負担金の検証と適正な執行	負担金の検証と適正な執行	負担金の検証と適正な執行	負担金の検証と適正な執行	負担金の検証と適正な執行
	実績	負担金の執行 21,101千円	負担金の執行 7,475千円	負担金の執行 10,738千円	負担金の執行 12,855千円	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の桂川右岸流域下水道（雨水）事業に係る負担すべき事業内容を確認し、本市負担分として12,855千円（当市負担率12.54%）を執行しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> 浸水防除（雨水対策）を目的とした桂川右岸流域下水道（雨水は、京都市・向日市・当市の3市）として京都府が実施し、大規模浸水対策施設にかかる建設コストの抑制を図っているものです。 負担金は、下水道法第31条の2の規定により負担するもので、12,855千円を負担しました。 負担額が平成26年度は当初予算（28,622千円）を大きく下回った理由は、府の実施事業そのものの減少であり、負担率等に変化はありません。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 本市が受益することとなる「いろは呑龍トンネル南幹線」の建設が着手されました。当事業費は「建設負担金」ですが、南幹線が完成し供用開始となった後は、新たに雨水維持管理負担金が発生するため、市民の安心・安全を第一としつつ、過大な投資とならないように府との協議を進めます。 						

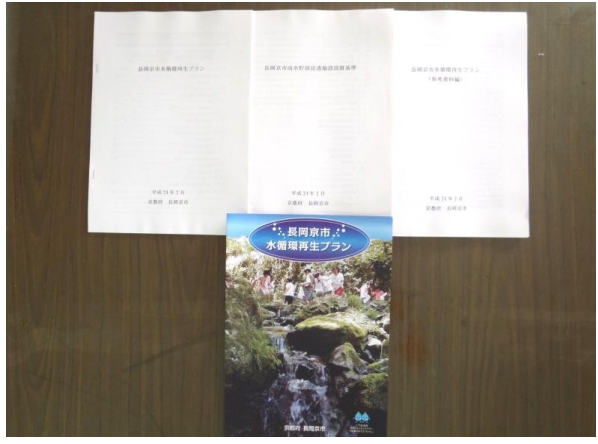
政策3 水環境の整備

施策2 浸水対策

事務事業の概要						
事務事業名称				重点テーマ		
下水道（雨水）築造事業				「安心・安全」のまちづくりの推進		
予算科目				決算額(円)	担当課	
会計	款	項	目	54,439,159	下水道施設課	
下水	1	1	3			
目的						
浸水リスクの高い地域の雨水を下水道に流し、市民の生命や財産を水害から守るとともに、安全で快適なまちづくりを目指します。						
内容						
風呂川排水区の今里雨水貯留幹線に流入する周辺水路の整備が平成21年度で完了したので、今後は野添川の整備に着手します。						
事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
風呂川排水区の整備率（整備済み面積÷事業認可区域面積（65.14ha））を高めます。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
93%(平成23年度)	目標	95.6%	98.3%	93% ※25年度からの目標値	97%	100%
	実績	93.0%	93.0%	93.0%	99.0%	
平成26年度の事業内容						
・風呂川排水区の水路改修工事を実施しました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			達成できた（目標の100%以上）			
・風呂川排水区全体の基本計画を見直し、現状に則した浸水対策事業実施計画による水路改修工事を行いました。						
課題と今後の対応						
・今後の局地的集中豪雨に耐えられる水路改修工事であったか、検討が必要です。このため、今後局地的集中豪雨が発生した際には現地確認を行い、適切な事業の評価を行っていくことが重要です。						

政策3 水環境の整備

施策2 浸水対策

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
水循環再生プラン事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	下水道施設課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	4,874,080	
下水	1	1	3		
目的					
雨水の貯留浸透施設を効率的に導入することで、水循環系を再生するとともに、近年の集中豪雨による浸水被害リスクを軽減し、水資源を有効活用して地下水の保全や日常生活での有効利用につなげます。					
内容					
雨水の貯留浸透などを主とした「水循環再生プラン」を策定し、その計画により雨水貯留浸透施設などの設置を進めます。					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
平成23年度に基本計画を策定します。それ以降の目標指数（雨水貯留浸透施設の設置数など）と期限は平成23年度に設定します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
基本計画の策定と啓発パンフレットの作成(平成23年度)	目標	基本計画の策定と啓発パンフレットの作成	実施計画の策定と補助金採択に向けた関係機関との協議	国庫補助事業採択に向けた実施計画の策定並びに関係部署との調整 ※25年度からの目標値	雨水貯留浸透施設(整備済箇所)100基	雨水貯留浸透施設(整備済箇所)200基
	実績	基本計画の策定と啓発パンフレットの作成	実施計画策定に向けた関係機関との協議	実施計画の策定	雨水貯留浸透施設設置の推進(47基) 雨水貯留浸透施設整備のための詳細設計	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 雨水貯留施設整備助成事業の実施(雨水タンク助成47基) 雨水貯留・浸透施設整備の実施設計(長岡第十小学校) 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 「長岡京市水循環再生プラン計画」に基づき、都市型水害の防除や良好な水循環の維持・回復のため、水環境創造事業(国庫交付金事業)により、雨水の貯留・浸透機能を有する施設(貯留タンク・地下式貯留施設)の実施設計を行いました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の対象区域は市街地の全域であり、目標達成まではかなりの長期間となる事が想定され、国庫交付金等財源の確保や民間による開発指導等について、関係機関や市内部の協議・調整が必要になります。常に関係機関等と情報交換や協議を行い、十分な調整を図ります。 計画地域での貯留・浸透施設設置に向けて、わかりやすいPR活動を行い、市民及び事業者等へ理解を求めます。 						